



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 9月号 (No.8)

令和2年9月4日発行

久しぶりだね！ひすいっ子

< 2学期始業式 >



<小学部：第1多目的室>



<中学部：第3多目的室>

35日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。元気な子どもたちの声やにぎやかな物音が校舎内に響き、今週も活気ある学校でした。大人は連日の気温30度超えで、心も体も茹だるような感覚に陥り、萎えてしまいそうなのですが、そこは「ひすいっ子」、元気一杯です。

先週の2学期の始業式は、35度を超える気温が予想されたため、熱中症対策として冷房のある多目的室を会場として行いました。また、新型コロナウイルスの感染防止のために人との間隔を広く取る必要があることから、小学部は第1多目的室、中学部は第3多目的室に分かれて実施しました。

私からの始業式の話は、2学期も「ひすいっ子」の目指す姿（教育目標）、**ひとみ** かがやく子、**すてきなえがおの子**、**い**つもげんきな子に向かって頑張ろうというものです。このことは1学期の始業式にも子どもたちに話したことなのですが、2学期のスタートでも重ねて行いました。いつも意識してほしいという思いから、今回、もの作りを得意とする2人の職員に依頼して、掲示用の教育目標と校章を作ってもらいました。「うわーっ、すごい！」初めて見たときの子どもたちの第一声でした。そして、みんなで声をそろえて復唱しました。勾玉の形をした緑のベース板に色の変化をつけた立体的な文字を載せた、パッと目に付く印象的な教育目標、勾玉の穴の部分のくり抜いた板を使った校章は、本物そっくりにできています。「ひすい君」と「里子ちゃん」、ひすいの里総合学校のオリジナルキャラクターも登場しています。教育目標は児童生徒玄関に掲示してあります。保護者の皆さんや学校関係者の方々にもご覧いただき、目標とするひすいっ子の姿を共有して、子どもたちへの支援ができればと考えています。

さて、夏休みに入る頃から、再び新型コロナウイルス感染症の患者数が増え始め、2学期はどうなることかと心配していたのですが、現在は減少傾向となり、ほっとしているところです。保護者の皆さんには夏休み期間、お子さんの健康管理と新型コロナウイルス感染防止にご協力をいただき、感謝申し上げます。2学期の教育活動は、感染症対策をとりながら、できるだけ通常のエデュケーション活動を行っていく予定です。行事の皮切りは、フリー参観、小学部の修学旅行です。よろしくお願いいたします。

備えあれば憂い無し

～地震・津波避難訓練～

9月1日は「防災の日」です。それに合わせて、糸魚川小学校・ひすいの里総合学校の合同避難訓練を実施しました。震度7の地震が発生し、その後、大津波警報が発令されたという想定でした。地震が収まるまでは各教室で身を守る体勢をとる一次避難をし、津波から逃れるために二次避難として市民会館に向かいました。学校から市民会館までは300m程ですが、一人分程の歩道の幅で、途中で信号機のある交差点があるため、安全に気を付けながら歩きました。子どもたちは、職員の指示に従い、整然と避難をすることができました。学校を出てから全員が避難するまでの時間は8分27秒でした。



基点となる糸魚川小学校が海拔5.2m、糸魚川市役所で海拔10mです。ひすいの里総合学校は築7年目の校舎ですから、地震の揺れには耐えられますが、海が近いことから大津波の場合はより高いところへの避難が必要となります。日本は火山列島であり、地震がいつあってもおかしくありません。また、海に面している糸魚川は津波も心配です。地震が発生したときに自分の命を守る



行動がとれるよう、今後も繰り返し指導していきたいと考えています。保護者の皆さんには、春に配付させていただいた「家庭掲示用：災害等の緊急時に確認してください」を、この機会に再度ご確認ください。

校内ギャラリー紹介



<中学部：「ビー玉アート」>

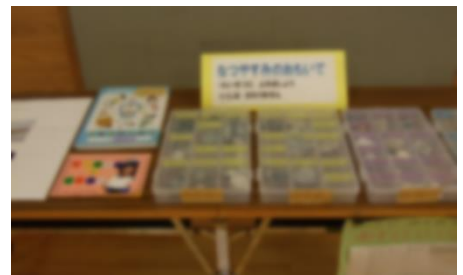
学校では、その時々の子どもたちの学習の成果を展示して、学校生活がより豊かに楽しくなるようにしています。

中学部では「ビー玉アート」、「風鈴」です。ビー玉アートは、ビー玉に絵具を付けて「波しぶき」「イルカ」などのイメージを持ちながらに色画用紙の上で転がし、その軌跡を模様として仕上げた作品です。風鈴は、ペットボトルの上部などの透明素材を使ってマジックで色付けたもので、透ける色の綺麗さが感じられる作品です。きっと涼やかな音色を奏でてくれることでしょう。



<中学部：「風鈴」>

小学部では、「石調べの標本とラベルノート」、「なつやすみのおもいで・調理」です。どれも夏休みに個人で自主的に取り組んだものです。「石調べ」は一つ一つの石を丁寧に調べて分類・記録してあります。「おもいで・調理」は写真を使ってその内容や楽しさよく伝わってくるものです。



<小学部：「なつやすみのおもいで」>

子どもたちにとって自分の作品が紹介されることは、達成感や充実感を味わい、自分のよさに気付き、自信をもって物事に挑戦しようとする意欲をもつことができます。一方で、友達の作品に触れることで、自分の作品制作の参考にしたり、友達のよさや自分との違いを認めたりすることにもつながります。今後もこの取組を大切にしていきます。